

SY-1 オーバービュー

山口県済生会下関総合病院 腎臓内科
○新田 豊

はじめに；

現代日本の特徴は少子高齢化であり高齢化・加齢とは何かと考えると、年齢の数以外に家族構成の変化、生活環境・リズムの変化、嗜好の変化、身体の変化を伴う。

2016年12月末のJSDT統計調査では、透析導入患者の平均年齢は70歳に届こうとしている。保存期から引き続いた年齢に伴うこれらの因子を意識した医療の構築が必要と考えられる。

反面、65歳未満の導入患者割合は30%にのぼる。腎不全・透析医療は高齢者医療の面だけでなく、社会活動への復帰・参加を目指すとともに生命予後やADL、生活自由度を担保する為の積極的な戦略も必要としている。

今大会では、各職種の立場から腎不全治療に於けるこの2つの問題に焦点を当ててみたいと考える。